

生誕 150 年 岡田虎二郎

2022 年5月 28 日(土)～7月3日(日) 田原市博物館企画展示室2

※資料はすべて田原市博物館所蔵

資料名	制作年	備考
おかだとらじろうせいざぞう 岡田虎二郎静坐像	げんだい 現代	せっこう 石膏
せいざどうじ 静坐童子	しょうわ 昭和51年(1976)復刻	しまづせいざくしよ 島津製作所 げんげいたいしやうねんかんせいざく 原型大正年間制作
せいざどうじしやしん 静坐童子写真		しゆんどうぶんこきゆうぞう 春堂文庫旧蔵
つじひろば おかだとらじろうせいしかあと 辻広場(岡田虎二郎生家跡)【パネル】		※現在、辻広場は宅地 となっております。
せいち せいかみとりず 生地・生家見取図		春堂文庫旧蔵
ちち おかだのぶかた しやしん 父 岡田宣方【写真】	めいじ 明治29年(1896)	58 歳、春堂文庫旧蔵
びやうじやくじだい おもかげ 病弱時代の面影【写真】	明治 27 年(1894)	23 歳、春堂文庫旧蔵
たはらがっこうかとうしょうがくだいはちきゅうそつぎょうしょうしよ 田原学校下等小学第八級卒業証書	明治 11 年(1878)	
たはらがっこうかとうしょうがくだいごきゅうそつぎょうしょうしよ 田原学校下等小学第五級卒業証書	明治 15 年(1882)	
たはらがっこうしょうがくしょとうかだいにきゅうそつぎょうしょうしよ 田原学校小学初等科第二級卒業証書	明治 16 年(1883)	春堂文庫旧蔵
あつみぐんやくしよたはらがっこうしょうとうにきゅうがくじゆつゆうとうきんとうしょう 渥美郡役所田原学校初等二級学術優等三等賞	明治 16 年(1883)	春堂文庫旧蔵
たはらがっこうしょうがくしょとうかだいにきゅうそつぎょうしょうしよ 田原学校小学初等科第一級卒業証書	明治 16 年(1883)	春堂文庫旧蔵
あいちけんあつみぐんにじゅうきゅうがつたはらがっこうしょうがくしょとうぜんかそつぎょうしょうしよ 愛知県渥美郡二十九学区田原学校小学初等全科卒業証書	明治 16 年(1883)	春堂文庫旧蔵
たはらがっこうしょうがくしょとうぜんきゅうそつぎょうがくじゆつゆうとうほうしょう 田原学校小学初等全級卒業学術優等褒章	明治 16 年(1883)	春堂文庫旧蔵

資料名	制作年	備考
たはらがっこうちゅうとうごきゅうそつぎょうがくじゅつゆうとうほうしょう 田原学校中等五級卒業学術優等褒章	明治 17 年(1884)	春堂文庫旧蔵
あつみぐんやくしよたはらがっこうちゅうとうごきゅうそつぎょうがくじゅつゆうとうしょう 渥美郡役所田原学校中等五級卒業学術優等賞	明治 17 年(1884)	春堂文庫旧蔵
あいちけんあつみぐんやくしよたはらがっこうちゅうとうぜんきゅうそつぎょうがくじゅつゆうとうしょう 愛知県渥美郡役所田原学校中等全級卒業学術優等賞	明治 19 年(1886)	春堂文庫旧蔵
とべいまえ おもかけ 渡米前の面影【写真】	明治 34 年(1901)	30 歳、春堂文庫旧蔵
サンフランシスコから【写真】	明治 36 年(1903)	32 歳、春堂文庫旧蔵
くのうじだい 苦悶時代【写真】		きこくご 帰国後、春堂文庫旧蔵
せいざそうしじだい 静坐創始時代【写真】		春堂文庫旧蔵
せいざかくりつじだい 静坐確立時代【写真】	明治 42 年(1909)	38 歳、春堂文庫旧蔵
ちほうしどうじだい 地方指導時代【写真】	明治 44 年(1911)	40 歳、春堂文庫旧蔵
りゅうせいじだい 隆盛時代【写真】	たいしゅう 大正 5 年(1916)	45 歳、春堂文庫旧蔵
とらじろうせんせいいっか 虎二郎先生一家【写真】	大正 5 年(1916)	45 歳、春堂文庫旧蔵
とらじろうせんせいいっか あにとうじゅうろうし おとうと か さぶろうし 虎二郎先生一家と兄藤十郎氏、弟嘉三郎氏【写真】	大正 5 年(1916)	春堂文庫旧蔵
とらじろうせんせい フロックコートの虎二郎先生【写真】	大正 8 年(1919)	48 歳、春堂文庫旧蔵
おかだとらじろう いのうえ か さぶろう おとうと あてしよかん 岡田虎二郎より井上嘉三郎(弟)宛書簡 【34 件のうち、8 件】	明治 34 年(1901)～ 大正 5 年(1916)	春堂文庫旧蔵
おかだとらじろう 岡田虎二郎デスマスク	大正 9 年(1920)	きたむらまさのぶ 北村正信 制作
おかだとらじろうしよ せいじんようき 岡田虎二郎書「静神養氣」	大正年間	春堂文庫旧蔵

資料名	制作年	備考
おかだとらじろうしょ せいらく 岡田虎二郎書「静楽」	大正年間	春堂文庫旧蔵
いこつ かこ とよはしおかだ や 遺骨を囲む(豊橋岡田屋)【写真】	大正 9 年(1920)	春堂文庫旧蔵
ぎおうさん そうじょう 蔵王山の葬場【写真】	大正 9 年(1920)	春堂文庫旧蔵
きのしたなおえ たんざく なみ おと 木下尚江短冊「浪の音」	大正 11 年(1922)	春堂文庫旧蔵
きのしたなおえ たんざく がじょうじょうらく 木下尚江短冊「我常浄楽」	昭和 3 年(1928)	春堂文庫旧蔵
おかだとらじろうせんせいじゅうねんさいのりと 岡田虎二郎先生十年祭祝詞	昭和 4 年(1929)	たはらちようちよう 田原町長、春堂文庫 旧蔵
おかだとらじろうせんせいごじゅうねんさいきねんこうえんきろく 岡田虎二郎先生五十年祭記念講演記録	昭和 45 年(1970)	たはらせいざかい 田原静坐会、春堂文庫 旧蔵
おかだしきせいざほう 『岡田式静坐法』	明治 45 年(1912)	改訂46版 じつぎょうのにほんしゃ 実業之日本社 編集
おかだとらじろうせんせいせいたんひやくねんさいきねんしゃしん 岡田虎二郎先生生誕百年祭記念写真	昭和 47 年(1972)	春堂文庫旧蔵
せいざ おかだとらじろう ことば しょうがい 『静坐 岡田虎二郎その言葉と生涯』	昭和 49 年(1974)	ささむらそうかじん 笹村草家人著 春堂文庫旧蔵
おかだしきせいざ ちから 『岡田式静坐の力』	昭和 5 年(1930)	18 版、はしもとごさく 橋本五作著 春堂文庫旧蔵
ぞくおかだしきせいざ ちから 『続岡田式静坐の力』	昭和 3 年(1928)	4 版、橋本五作著 春堂文庫旧蔵
おかだとらじろうせんせいせいたんひやくよんじゅうねんきねん せいざそうししや 『岡田虎二郎先生生誕百四十年記念 静坐創始者 岡田虎二郎』	へいせい 平成24 年(2012)	
おかだとらじろう しょうがい 岡田虎二郎の生涯	平成 19 年(2007)	まつうらくにはる 松浦邦治画
ぎおうさん おかだとらじろうぼしよ 蔵王山の岡田虎二郎墓所【パネル】	現代	ぎおうれいえん 蔵王霊園

おかだ とらじろう 岡田 虎二郎 明治5年(1872)～大正9年(1920)

おかだ とらじろう めいじ きゅうたはらはんしおかだのぶかた じなん
岡田虎二郎は、明治5年(1872)6月13日に旧田原藩士岡田宣方の次男として田原市田原町
山口に生まれた。家は^{まず}貧しく、^{とらじろう}虎二郎も^{びょうじゃく}病弱であった。^{こうとうしょうがっこうそつぎょうご}高等小学校卒業後、^{のうぎょう}農業に従事し、
^{あつみぐんのうぎょうしゅじ}渥美郡農業主事となり、^{いね}稲の^{がいちゅう}害虫を^お追い^{はら}払う^{かいはつ}方法を^{せい}開発し、^な大きな^と成果を成し^と遂げた。その後、3
0歳でアメリカへ行き、英語、フランス語、ドイツ語、^{てつがく}哲学、^{せい}宗教を^{ひろく}広く学んだ。当時の宗教や思想
のありさまに^{しつぽう}失望した虎二郎は、人が^{にのみやそんとく}学ぶべき人は「^{しゃか}二宮尊徳、^{こうし}釈迦、^{せい}孔子、^{せい}キリスト、^{せい}ソクラテス
だけである」とし、歴史、民族や国を^こ越えて^{びょうどう}変わらないのは^{あい}すべてのものを^{だいあい}平等に愛する「大愛の
心」であると^{きと}悟った。

3年後に虎二郎は帰国し、人間本来の^{しぜんたいけい}自然体形と^{こきゅうほう}呼吸法をもとにした「^{せいざほう}静坐法」を^{こうあん}考案した。35
歳で^{さい}上京し、「^{せいざほう}静坐法」を通じて日本人の^{しんしんかいはつ}心身開発に取り組んだ。「^{せいざほう}静坐法」は^{こうぞく}皇族から^{しよみん}庶民まで
幅広く受け入れられた。^{あしおどうざんこうどくじけん}足尾銅山^{ゆうめい}鉍毒事件で有名な^{たなかしょうぞう}田中正造(1841～1913)も^{えいきょう}影響を受けた
ひとりである。教えを受けた人の数は数十万人に達し、^ね寝る間も^ま惜しんで^{せいざ}静坐の^{しどう}指導にあたった。

虎二郎は大正9年(1920)10月17日に49歳で^{さい}死去した。虎二郎は、自分が書いたものは^{あやま}誤っ
て読まれると言い、本も出さず、日記も残さなかった。今では「^{しそうか}忘れられた思想家」となったが、多く
の関係者が虎二郎の資料を持ち寄り「^{しゅんどうぶんこ}春堂文庫」としてまとめられている。